

産業構造審議会 新成長政策部会 経営・知的資産小委員会
知的資産経営開示ガイドライン 骨子（案）

はじめに

第1章 ガイドライン策定の背景・意義

- 1．知的資産経営の重要性
- 2．知的資産経営開示のねらい
- 3．経営情報の開示の現状
- 4．ガイドラインの必要性

第2章 知的資産経営開示の考え方

- 1．何をどのように開示するか
- 2．開示内容の裏づけ
- 3．基本的な課題の解決策
- 4．裏づけ指標とその役割
- 5．何に開示するか（開示媒体）
- 6．柔軟性と自由度の確保
- 7．開示のメリット
- 8．開示内容に関する責任

第3章 具体的な記載の方法と留意点

- 1．全体像
- 2．本体部分（ストーリー）の記載方法
 - （1）全般
 - （2）哲学
 - （3）過去～現在
 - （4）現在～将来
- 3．本体部分に記載する裏づけ指標の記載方法
- 4．別添部分（指標群）の記載方法
- 5．全般的な留意点

第4章 評価する側の留意点

- 1．全般
- 2．本体部分
 - （1）哲学
 - （2）過去～現在
 - （3）現在～将来

3．本体部分の裏づけ指標

4．別添の基本指標

第5章 簡易な方法

第6章 今後の展望

別紙 知的資産報告書の全体像（サンプルイメージ図）

別紙 知的資産の裏付け指標一覧